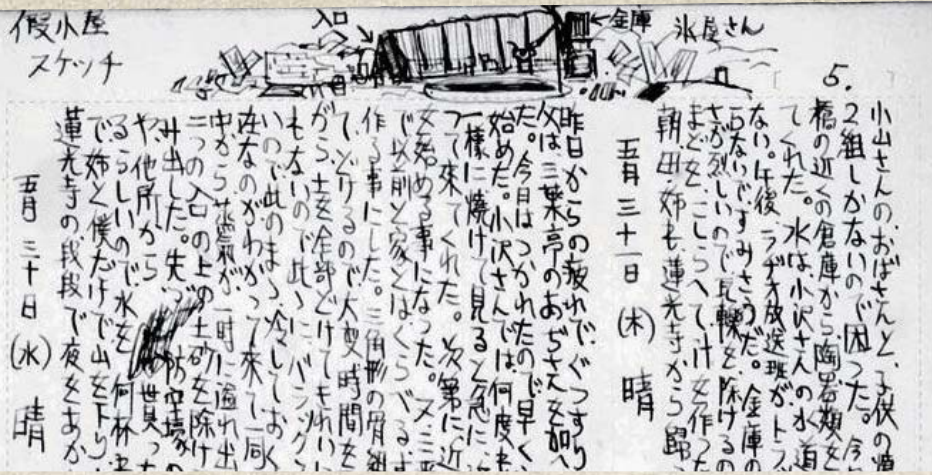


戦後横浜

—それぞれの出発—



鈴木健治郎日記より 1945(昭和20)年5月



焼跡のバラック 1945(昭和20)年9月



建ち並ぶバラックと接収地



雪の降るなか買い出し 1946(昭和21)年12月

2021年

7月15日(木)～
9月23日(木・祝)

入場無料

[会場] 横浜中央図書館地下1階
ホール前ホワイエ
横浜市史資料室展示コーナー

*市史資料室で受付を済ませた後ご入場ください。

[時間] 午前9時30分～午後5時
[休室] 毎週日曜日、図書館休館日(8月10日(火)、9月21日(火))
[主催] 横浜市史資料室
[協力] 横浜中央図書館
[企画運営] 公益財団法人横浜市ふるさと歴史財団

[関連事業]
講座「戦中・戦後の日記を読む」
9月11日(土)午後2時～4時30分
横浜中央図書館地下1階 ホール
参加費：無料
定員：50人(事前申込)

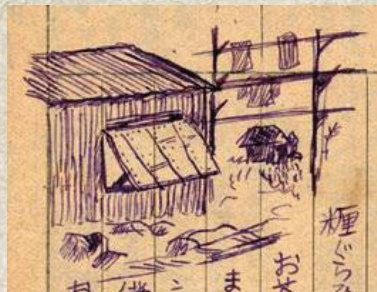


* 急な災害や今後の新型コロナウイルス感染症の拡大状況等によっては、展示会・関連事業(講座)の中止や、内容が変更となる場合があります。最新情報は当室ホームページが電話でご確認ください。https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/yokohamashi/gaiyo/shishiryō/

横浜市史資料室 横浜市西区老松町1
横浜市中央図書館地下1階
Tel.045-251-3260 Fax.045-251-7321
メールアドレス so-sisiryō@city.yokohama.jp



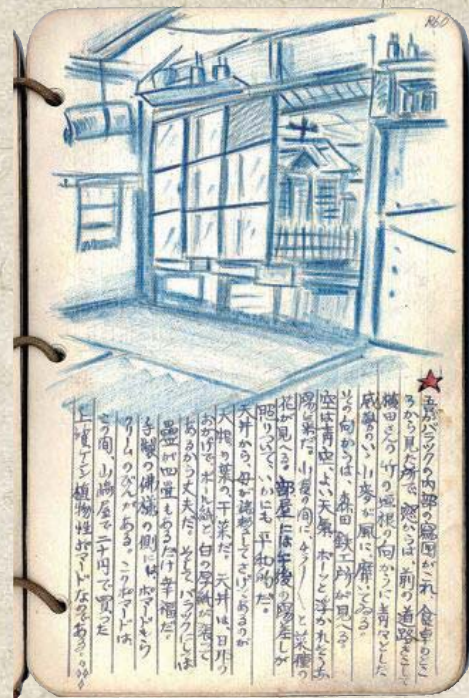
小黑英夫日記 1946(昭和21)年10月



最初のバラック 1945(昭和20)年6月



小黑英夫21歳 1950(昭和25)年



日記に描かれた小黑家の内部 1947(昭和22)年4月

戦後横浜 — それぞれの出発

1945(昭和20)年、空襲被災、敗戦にともなう混乱、そして占領と接收、そんな激動のなかで戦後横浜は出発する。その歩みを、市民一人一人の暮らしの視点から紹介する。

戦中・戦後の日記には、空襲被災後のバラック生活から始まり、8月15日をどのように迎え、戦後の暮らしをどう再開していったのかが記録されている。一方、戦地から復員した元兵士たちは戦後どう向かい合ったのか、軍事郵便や書類などからうかがうことができる。

幅広い世代や女性、あるいは元兵士など様々な人々の歩みを見つめ、それぞれの戦後の出発を通して、改めて横浜における戦後を考える。

展示構成

第1部 戦災・敗戦日記

- ①空襲その後
- ②敗戦の日 — 8月15日
- ③戦後生活の始まり

第2部 それぞれの戦後

- ①若者の戦後
- ②女性たちの戦後
- ③復員兵士の戦後

第3部 戦後の風景

- ①戦後の風景
- ②文化人たちが見た戦後横浜
- ③様々な戦後

市史資料室展示コーナー

戦後横浜 一人々の歩みと変わりゆく街並

関連事業

講座

「戦中・戦後の日記を読む」

9月11日(土) 午後2時~4時30分
横浜市中央図書館地下1階 ホール

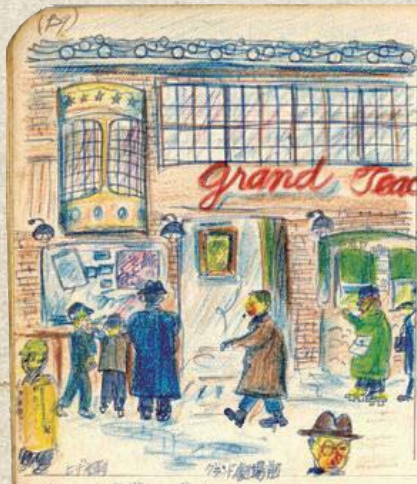
【参加費】
無料

【募集人数】
50人(応募多数の場合抽選)

【申込方法】
往復はがきに(1枚につき2人まで)、氏名、住所、電話番号明記の上、下記住所まで送付8/31(必着)

【郵送先】
〒220-0032 横浜市西区老松町1
横浜市中央図書館地下1階
横浜市史資料室

*手話通訳を希望される場合は、8月31日までに横浜市史資料室にご連絡ください。



新築の横浜グランド劇場 1947(昭和22)年1月

*手書きの挿絵は全て小黑英夫日記より



アクセス

横浜市中央図書館地下1階

交通 ●京浜急行「日ノ出町」駅徒歩5分

●JR・市営地下鉄線「桜木町」駅から徒歩10分

●市営バス停「野毛坂」下車1分(103系統)

●市営バス停「中央図書館」下車1分(89系統)

横浜市史資料室

横浜市西区老松町1 横浜市中央図書館地下1階

Tel.045-251-3260 Fax.045-251-7321

メールアドレス so-sisiryou@city.yokohama.jp